

地域生活支援拠点等についてプロジェクト会議でのまとめ

2020.7.14

地域課題解決プロジェクト

◎地域生活支援拠点 PT(2017.2～2017.10)が作成した資料より

①「地域生活支援拠点プロジェクトにおける各専門部会から出された地域課題一覧」より

・別紙、新たな課題を追加(2020.7.14)した一覧参照。《地域生活支援拠点事業にて実施》となっているもの。

【相談支援】

課題1. 相談支援専門員が抱える相談件数が多く丁寧な支援が出来ていない。また、障害福祉サービスや関係する制度の仕組みを理解し、適切なサービスや機関に繋げる事が必要。

課題2. 重度や重複障害者の方がたらい回しにされる傾向にある。

課題3. 夜間対応、緊急時、休日対応の相談体制がない。

【体験機会・場の提供】

課題1. (生活介護事業所)第4期昭島市障害福祉計画のサービス見込み量が50人不足。

課題2. (生活介護事業所)昭島市内に医療型生活介護がない(医療ケア可能なサービス必要)。

課題3. (グループホーム)市内のグループホームにショートステイを受け入れる枠がない(併設型)。

課題4. (その他)ご家庭の都合により生活介護事業所に通えなくなる。

【緊急時の受け入れ対応】

課題1. (再掲)ショートステイが不足。

課題2. 緊急一時保護事業が昭島市内にない。

課題3. 災害発生時、発生後の安否確認や福祉避難所や避難所での受け入れ等の対策が未確立。

②昭島市の地域生活支援拠点に求める機能(案) 拠点整備と面的整備 2019.3.12 の図より

・地域生活支援拠点 多機能施設拠点整備

相談支援体制の充実・・・基幹相談支援事業所、夜間・休日の相談窓口、ワンストップの窓口

体験機会・場の提供・・・生活介護事業所(医療対応可)、自立訓練(生活訓練)、

短期入所(ショートステイ)、共同生活援助(医療対応可)

緊急時受け入れ対応・・・緊急一時保護事業

・市内にない事業・システム・・・就労継続A型、療養介護、施設入所支援、

災害時の安否確認方法、災害時の避難所運営

◎協議会・プロジェクト会議でのこれまでの協議内容等

・相談支援部会の国分寺市見学会報告より

【まとめとして】

昭島市第 5 期障害福祉計画で描いた地域生活支援拠点構想の中で、面的整備としても不足している社会資源が国分寺市にそろっており、障害のある方々が使いやすい工夫もされて、活用されていた。また、事業があるだけでなく、使いやすい運用など、委託された法人と障害福祉課が密に連携を取り進めていた。基幹相談支援センターと地域拠点事業との連携も密になっており、必要な方が使えるものになっていた。

今後、不足している社会資源を、事業所任せではなく、充足できるよう、第 6 期障害福祉計画の策定と合わせて検討することが急務と考える。

昭島市に不足している社会資源は以下のとおりである。

- 自立生活訓練
- 短期入所
- 体験型グループホーム
- 市内における緊急一時保護事業
- 日中一時支援
- 医療対応可能な生活介護、共同生活援助
- 基幹相談支援センター

◎第 6 期計画策定に向けてプロジェクト会議での協議内容

○以前に市から提案のあった立川基地跡地を利用して行うことは、2020 年 3 月の市議会で、断念することが確認された。市有地などを利用する案もあるが、まだ具体的な検討には至っていない。

当初の提案は「多機能拠点整備型」中心に面的にも整備する内容だったが、「面的整備型」を中心に実施する方向性になった。

○計画策定、実施に向けての意見

- ・昭島市内に不足している社会資源や事業は上記の通りなので、実施が必要。
- ・優先順位を決めて、一つずつ着実に実施してほしい。
- ・基幹相談支援センターは相談の要となり、他のサービスを利用するためにはとても重要。
- ・短期入所を増やし、医療対応型のグループホームや生活介護をぜひ実施してほしい。
- ・それぞれの事業等について、委託先の法人任せにするのではなく、必要な機能を実施できるようにし、実施に

において市が積極的に連携を図ってほしい。

◎7月14日地域支援協議会での市の報告等

- ・3月市議会で、市長、都市計画部長から国有地の立川基地跡地を利用して行うことは断念したと報告があり、確認された。
- ・今後は面的整備として行う。不足している資源について誘致する。市有地なども含め、市内の土地で活用できるものを考えていく。
- ・基幹相談支援センターをどうするかも含め、今後の事業の進め方については、庁内で調整する。（現時点では白紙である）
- ・基幹相談支援センターについて、市の直営ではなく、委託を検討している。その場合おそらく公募になるので、公募要領を決める時に皆さんの意見も聞きたい。（委員からの「主任相談支援専門員」についてのスキルに関する発言に対し）きちんと運営できるように相談員の資質を担保したい。
- ・面的整備の考え方として、形として立川基地跡地の活用はない。市内に現存する施設と連携して強化充実し、足りない施設について整備等を検討していく。法人が多機能型を提案するのであれば拒むことはないが、公募の時に総合的に検討したい。
- ・公募では実施すべきことを明確にして公募するが、土地の確保が前提となる。
- ・コロナの関係で、来年以降の市の財政状況が悪化の見通しとなっている。用地をどこにするか、内容をどうするかなどの検討を進めることはできるが、実施時期については現時点では明確にできない。
- ・こんな施設にしたいという意見は、皆さんから出してもらいたい。